

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【国語】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成30年度	1年	<p>○教材文を読んで登場人物の気持ちなどを考える際、自分の考えをもてない児童がいる。</p> <p>○読み書きがまだ完全に習得できていない児童が数名いる。助詞や拗音、促音の表記の間違が多く、十分に定着できていない。</p> <p>○したことや思ったことを文章で表現することや話すことに慣れていない。</p>	<p>○場面の様子を想像しながら読む力</p> <p>○正しく表記する力</p> <p>○書きたいことを書ける力 ○話したいことを話す力</p>	<p>○友達のことを聞き、自分との相違点に気付かせることを通して、近い考えを見付けさせる。</p> <p>○音読や言語事項の習得については、継続して指導する。漢字は、成り立ちの指導をしながら興味をもたせ、意欲的に取り組ませるようにする。</p> <p>○折に触れて文を書く活動や話す活動を取り入れ、文章を書いたり話したりする経験を増やす。友達の記事を紹介する機会を設ける。</p>
平成31年度	2年	<p>○音読の宿題に取り組み、教材文を読むことはできるが、初見の文章や情報量が多い問題文の意味を正確に捉えることが十分でない。</p> <p>○時間や事柄の順序を考えながら、自分の経験と結び付けて書くことが十分でない。</p> <p>○漢字練習のときは書くことができるが、文や文章の中で使うことが難しい。</p>	<p>○ポイントとなる言葉を抑え、題意を捉えて正確に文章を読む力</p> <p>○順序が分かるように整理して、順序を表す言葉を使って書く力</p> <p>○既習の漢字を文章や文正しく使うことができる力</p>	<p>○問題文を声に出して読む。題意を確認する。最後に必ず見直す時間を設け、正確に読み取る力を育てる。</p> <p>○メモを書かせ、順序を整理してから書かせる。「まず・つぎに・そして・さいごに」など順序を表す言葉を意識して発言させることで、表現力を高めていく。</p> <p>○作文や日記のときに習った漢字を必ず使わせるようにする。</p>
令和2年度	3年	<p>○漢字の読み書きが十分ではなく、文章を書く際に、既習の漢字を平仮名で書くことが多い。</p> <p>○書字が安定しない児童が多い。字形が整わず、ノートのマス目やプリントの枠に字が入らない。また、文字が斜めになっており、まっすぐ文字が書けない。</p> <p>○物語や説明文を読み解く力や音読をする力に個人差がある。</p>	<p>○既習の漢字を文章で正しく使うことができる力</p> <p>○文字を正確に捉え、書く力</p> <p>○文章を読む力</p>	<p>○作文や日記を指導する際には必ず習った漢字を使用するよう声を掛ける。</p> <p>○まず目の線からはみださないように指導する。中心を意識させ、まっすぐ文字が書けるようにする。</p> <p>○音読は宿題で毎日練習する。授業の中でも音読をする回数を増やす。重要な文章のポイントをおさえて読ませる。</p>
令和3年度	4年	<p>○漢字を学習しても、読み書きが十分に定着しない児童がいる。</p> <p>○文章を書く際、改行、内容のまとまりなどに気を付けて書くことが難しい児童がいる。</p> <p>○物語文の中の、登場人物の気持ちや背景などを読み取ることを苦手としている児童がいる。</p>	<p>○既習の漢字の読み書きを理解し、正しく使う力</p> <p>○文章を正しく書く力</p> <p>○文章を読み取り考える力</p>	<p>○漢字テストなどを繰り返し行い、理解を図る。文章の中でも既習の漢字は使用するよう指導する。</p> <p>○作文の宿題や、授業の中で、文章を書く機会を計画的に取り入れる。友達の記事を読む機会を設ける。</p> <p>○ペアで話し合う機会を取り入れる。同じようなパターンで進めたり、助言することで読み取る力を伸ばしていく。</p>
令和4年度	5年	<p>○漢字の定着が不十分である。特に熟語で書いたり、既習の漢字を文章中に書いたりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>○説明文では、文章を根拠に筆者の考えを読み取ったり、要旨をまとめる力が不十分である。</p> <p>○自分の思いや考えを文章に自分の言葉で表現することが苦手な児童が多い。</p>	<p>○既習漢字、新出漢字の習得</p> <p>○根拠に基づき、要旨を読み取る力</p> <p>○自分の考えを工夫して文章で表現する力</p>	<p>○漢字ドリルや練習プリントを用いて、繰り返し練習する。</p> <p>○毎時間、個人の考えを記す時間を設けた上で、根拠となる叙述や考えを發表ないし、明記させていく。</p> <p>○話型を提示してそれに沿って文章を書かせたり、言葉の意味を国語辞典で調べたりして語彙力を増やしていく。</p>
令和5年度	6年	<p>○同じ読みの漢字を意味によって使い分けることに課題がある。</p> <p>○調べたことや考えたことを分かりやすく文章にまとめることに課題がある。</p>	<p>○漢字学習の進め方</p> <p>○分かりやすい文章を書く力</p>	<p>○漢字テストへの取組を通して、漢字学習の進め方を指導する。</p> <p>○相手意識や目的意識をもって文章を書かせる。推敲の仕方を指導し、自分自身の文章を読み直す習慣を付けさせる。</p>

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【社会】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和2年度	3年	○社会で学習した内容を、自分の生活の中でどのように活用することができるか考えることが不十分である。	○社会的事象を身近な生活と結び付ける力	○授業の最後に振り返りを行い、今後の生活でどのように生かすことができるかを考える時間を設ける。
令和3年度	4年	○資料やグラフを読み取り、そこから特徴や課題を見付けることの指導が十分でない。	○資料から正確に情報を読み取る力	○読み取る観点を明確にして指導を行う。また、児童同士で話し合う時間を多く設ける。
令和4年度	5年	○学習問題等の問いに対して、自身の考えや、その根拠となる内容を見出すことが不十分である。 ○専門用語の定着が図れていない。	○資料の読み取りから根拠となる内容を見出し、自分の考えを言葉や文章で表現する力 ○新しい言葉でも意味を理解し活用する力	○児童の考えに対し、疑問や質問等を投げかけ、再度考えさせる。 ○考える基となる資料を提示する。 ○ICT機器を活用しながら、定着を図る。
令和5年度	6年	○資料やグラフを読み取り、そこから特徴や課題を見付けることの指導が十分でない。 ○社会的事象の理由や原因、人々の思いまで考察することの指導が十分でない。 ○専門用語の定着が図れていない。	○資料活用能力 ○社会的思考力、表現力 ○新しい言葉でも意味を理解し活用する力	○資料から分かることを個人、グループ、学級と学習形態を変えていく中で深めさせ、自分の考えの形成を図る。 ○思考させる場面の充実を図る。 ○児童同士で説明し合ったり、教え合ったりして、意味の理解を図る。

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【算数】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成30年度	1年	<ul style="list-style-type: none"> ○数の分解・合成がスムーズにできる児童とそうでない児童との差が大きい。 ○問題文を読んで立式できない児童がいる。 ○問題に対して正確な解答ができない児童がいる。 ○立式の意味や計算方法を自分の言葉で説明することに慣れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数を分解したり、まとまりとしてとらえたりする力 ○文章を的確に読み取る力 ○素早く正確に計算する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝学習や宿題などで繰り返し練習を積むようにする。 ○くり上がりのたし算、くり下がりのひき算も、半具体物の操作を多く取り入れ、理解の助けとする。 ○問題文を読み取れない場合には、分かっていることと聞かれていることを整理し、問題場面を絵や図で表してから考えさせるようにする。 ○いろいろな問題に取り組みせ、式の意味を意識し、筋道を立てて考えられるようにする。 ○問題文を読んで、児童自身が計算方法を考え、それを自分の言葉で分かりやすく説明する活動を重視する。
平成31年度	2年	<ul style="list-style-type: none"> ○かさや長さの単位と測定についての理解が十分でない。 ○時刻は読めるようになってきているが、経過した時間や前の時刻を求める問題が苦手な児童が多い。 ○3位数、2位数の数の構成の理解が十分でない。また、繰り下がりのある計算をスムーズにできないため、2位数の筆算が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単位の意味を理解し、かさや長さの単位換算をする力 ○時間を生活と結び付けて考える力 ○数を分類したり、まとめて考えたりする計算力 ○繰り上がり、繰り下がりの計算方法の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝学習や宿題などで既習事項を繰り返し練習させる。 ○単位と数直線を関連させて、考えるようにさせる。 ○10のまとまりを意識させたり、フラッシュカードを使ったりして、2位数+1位数、2位数-1位数の計算をさせる。 ○問題文を読む際に、生活場面と関連付けて、考えさせる。
令和2年度	3年	<ul style="list-style-type: none"> ○ベーシックドリル診断テストでは、たし算、ひき算の誤答が目立った。特に繰り下がりが身に付いていない児童が多かった。 ○単位（長さ、かさ）についての問題の正答率は12%であり、未習熟である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数の構成（15は7と8など）についての感覚を働かせて、繰り下がりのある引き算をする力 ○cmとmなど、単位間の数量関係を理解し、様々な単位を用いて表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○百玉そろばんなどの具体物を用いて考えさせたり、年間を通してたし算、ひき算などの復習プリントに取り組みさせる。 ○重さ、長さの学習で、これまでに学習した単位を復習しながら、単位間の数量関係を身に付けさせる。
令和3年度	4年	<ul style="list-style-type: none"> ○わり算の筆算のやり方が身に付いていない児童や九九の内容が未習熟の児童への指導が十分でない。 ○分度器や定規を使っての作図を苦手とし、決められた通りに作図できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○九九を用いて除数が2桁以上のわり算の計算をする力 ○正しく作図する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導で九九を確実に身に付けさせる。また、年間を通して、わり算の筆算の復習をし、わり算ができるようにする。 ○作図の手順を分かりやすく示し、繰り返し行う。
令和4年度	5年	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の技能はほぼ身に付いているが、3桁以上の計算や小数の計算になると正確性に欠けることから、計算力を確実に定着させる必要がある。 ○文章題や思考を伴う学習問題の指導が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3桁以上の計算や小数のかけ算・わり算を正確に計算する力 ○思考力、応用力 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器や宿題、授業の中で繰り返し、3桁以上の計算や小数のかけ算・わり算の練習問題に取り組みさせる。 ○文章題では、図・数直線などを用いたり、既習事項を活用したりして考える練習を積み重ねる。
令和5年度	6年	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項の定着度に個人差が大きく、個別の補充指導が必要である。 ○図形の性質を理解していない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○確実に計算を行う力 ○図形の性質を理解し、活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝学習や家庭学習で練習プリントを行う。小テスト等を行い、定着度を確かめる。 ○様々な図形の特徴を理解したり、自分の言葉で説明する活動に取り組みせたりする。

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【理科】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和2年度	3年	○植物や昆虫などへの興味はあるが、興味があることから、疑問点を見出し、学習問題づくりへとつなげることができる児童とできない児童の差が大きい。	○学習問題を見出す力	○学習問題作りのルールを共有する。学習内容の注目する視点を明確にする。
令和3年度	4年	○自分が立てた予想を証明するためにはどのような実験をすればよいか考えさせる指導が十分ではない。 ○実験をした結果から何が分かるのか考察させる指導が十分ではない。	○実験方法や証明方法を考える力 ○結果を考察し、考えをまとめる力	○話し合い活動を通して、多くの方法案を出させ、どの方法であれば証明できるか皆で検討する時間を充実する。 ○考察したことを学級全体で検討する時間を十分に取る。
令和4年度	5年	○根拠に基づいた予想や仮説を立てる指導が十分でない。 ○実験計画や条件制御を考させる指導が課題。 ○理科的知識の習得が不十分である。	○既習内容や生活経験を結びつけて考える力 ○実験計画や条件制御について考える力 ○理科的知識の習得	○予想や仮説を立てる際に、資料の提示の工夫する。また、前単元や前時の振り返りの時間を設ける。 ○何について調べたいのかを明確にし、調べたい条件のみを変えて実験する手順を繰り返し行い、実験方法を理解させる。 ○学習後の復習問題を繰り返し行う。
令和5年度	6年	○理科的知識の習得が不十分である。 ○実験結果をもとに考察し、より妥当な結論を出すことが課題。	○理科的知識の習得 ○より妥当な結論を出す思考力	○学習後の復習問題を繰り返し行う。学習した内容と生活の関連性をもたせた指導を行う。 ○考察の型を提示し、それに沿って考察できるようにする。個人の結論をグループや学級全体で検討し、より妥当な結論を作り上げる。

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【音楽】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成30年度	1年	<p>○歌うときに声あまり出せない児童や、逆に叫ぶようにして歌う児童がいる。</p> <p>○鍵盤ハーモニカでは、運指を間違えてしまったり、タンギング奏法が身に付いていない児童がいる。</p> <p>○拍の流れに合わせて、リズムを打つことができない児童がいる。</p>	<p>○情景を想像しながら楽しく歌うことができる力</p> <p>○正しい奏法で鍵盤ハーモニカを演奏する力</p> <p>○拍の流れを感じながらリズムを打つ力</p>	<p>○歌う姿勢を意識させ、発声練習を取り入れる。</p> <p>○演奏の前に指番号で歌わせたり、トゥートゥートゥーで歌わせたりする。</p> <p>○指くぐりや指またぎも丁寧に指導する。</p> <p>○鍵盤ハーモニカの学習では、2人やペアでの練習時間を多く設定したり、グループで発表したりする時間を設定するなどし、その定着を図る。</p> <p>○リズムを打ちながらの言葉遊びを授業の初めに取り入れる。</p>
平成31年度	2年	<p>○概ね歌声に気を付けて歌っているが、音程が取れない児童もいる。</p> <p>○拍にのってリズム打ちができない児童がいる。</p> <p>○どのように表現するかについて自分の考えをもつことについてはあまり慣れていない。</p>	<p>○自分の歌声や発音、音程に気を付けて歌う能力</p> <p>○拍にのってリズムを打つことができる能力</p> <p>○曲想を感じ取って表現を工夫することや、どのように表現するかについて考える力</p>	<p>○音を“聴く”意識をもたせる。楽しみながら歌い音域の幅を広げる。</p> <p>○リズム唱やリズム打ちをするなどして、拍やリズムに対する感覚を身に付ける。</p> <p>○楽曲との出会わせ方を工夫する。楽曲のイメージを膨らませるような発問を工夫する。</p>
令和2年度	3年	<p>○楽譜を見て、その音を正しいリズムで演奏することが難しい児童が数名いる。</p> <p>○音楽づくりでは、どのようにつくるかについて自分の考えをもつことができるが、その他の表現では自分の考えをもつまでに至らない児童が多い。</p>	<p>○楽譜を読み、拍にのって正しいリズムで演奏する力</p> <p>○曲想を感じ取って表現を工夫することや、どのように表現するかについて考える力</p>	<p>○簡単なリズム譜を読んで打つ活動を頻繁に取り入れる。</p> <p>○工夫させたいことと反対の表現との両方を聴かせるなど、比較しながら考えられるようにする。</p>
令和3年度	4年	<p>○簡単なリズム譜を読み、リズムを打つことはできるが、音が入ると高低に惑わされてリズムを把握できない児童が多い。</p> <p>○楽曲の特徴等について感じ取ったことを言葉で表現することが難しい児童が数名いる。</p>	<p>○楽譜を読み、拍にのって正しいリズムで演奏する力</p> <p>○表現や鑑賞で扱う楽曲の特徴や曲想を感じ取り、言葉で伝える力</p>	<p>○旋律楽譜をリズム譜に直して視覚的に理解できるように提示する。短いフレーズを読んで音名で歌ったり、楽器で演奏したりする機会を多く取り入れる。</p> <p>○楽譜や図形楽譜を黒板に貼って視覚から理解を促す。一人一人発言させて板書し、発言が難しい児童には、自分の思いに近いものを選択させたりする。</p>
令和4年度	5年	<p>○中学年で身に付けたい歌唱の意欲や基礎的な技能が感染対策のために取り組めず、不十分である。</p> <p>○感染対策でなかなか取り組めなかったリコーダーの演奏技能が十分に身につけていない児童が多い。</p> <p>○音楽記号を覚えて使いこなせるまでに至っていない。</p>	<p>○呼吸や発音に気を付け、楽曲にふさわしい表現で声を響かせて歌う力</p> <p>○運指を覚え、呼吸やタンギングに気を付けて楽曲にふさわしい表現でリコーダーを演奏する力</p> <p>○簡単な楽譜を見て、リズムを打ったり楽器を演奏したりする力、反復記号に気を付けて演奏したり、強弱記号をもとに表現を工夫したりする力</p>	<p>○声を響かせはっきりした発音で歌う感覚を取り戻すために、教材となる歌の一部を取り出して歌い、姿勢や口形など、できているかどうか少数人数ずつ確認しながら歌うようにする。</p> <p>○演奏前に音の階段でウォーミングアップしてから始めるようにする。</p> <p>○音楽記号や音価の表など教科書をいつでも取り出して確認できるようにする。</p>
令和5年度	6年	<p>○正しい発声で歌うことができる児童が多いが、正しい音程で歌うことができない児童がいる。また、全体的により深い響きで歌えるようにしたい。</p> <p>○器楽において、短いフレーズを覚えるのに時間を要する児童がいる。読譜の力を高める必要がある。</p> <p>○表現したいことはあるが、言葉にして児童同士で共有することに抵抗がみられる。</p>	<p>○呼吸や発音に気を付け、楽曲にふさわしい表現で声を響かせて歌う力</p> <p>○簡単な楽譜を見て、リズムを打ったり楽器を演奏したりする力、反復記号に気を付けて演奏したり、強弱記号をもとに表現を工夫したりする力</p> <p>○思いや意図をもち、共有することで豊かな表現をする力</p>	<p>○声を響かせはっきりした発音で歌う感覚を取り戻すために、教材となる歌の一部を取り出して歌い、姿勢や口形など、できているかどうか少数人数ずつ確認しながら歌うようにする。</p> <p>○模範動画を使って階名唱やリズム読みをする時間を確保する。</p> <p>○音楽記号や音階の表など教科書をいつでも取り出して確認できるようにする。</p>

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【図工】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成30年度	1年	<p>○作品を作ることを通して、クレパスやはさみ、のりなどの使い方を安全に気を付けて練習したが、まだ上手に出来ない児童もいる。</p> <p>○友達の作品を見たり聞いたりして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付かせるための指導が十分でない。</p>	<p>○身近な材料や扱いやすい用具を使用し、表し方を考えて表す力</p> <p>○自分の作品や友達の作品を見たり話を聞いたりして、作品のよさに気付く力</p>	<p>○造形活動の基礎となる技能は、今後も繰り返し指導を続ける。</p> <p>○絵の具については、準備から片付けの仕方まで一つ一つ丁寧に指導を行う。</p> <p>○彩色法については、順序立てて教え、表現の幅を広げる。</p>
平成31年度	2年	<p>○どの児童も、図工の時間に絵や工作で表現することを楽しみにしており、意欲的に取り組むことができるが、発想がなかなか湧かない児童もいる。</p> <p>○色を塗るときや、紙を折ったり切ったりするときに、指先や道具を慎重に丁寧に扱うことが苦手な児童もいる。</p>	<p>○楽しみながら、進んで表したり見たりする態度や作りだす力</p> <p>○造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせる力</p> <p>○身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取る力</p>	<p>○造形活動の基礎となる技能は、今後も繰り返し指導を続ける。</p> <p>○絵の具については、準備から片付けの仕方まで一つ一つ丁寧に指導を行う。</p> <p>○彩色法については、新しい技法を取り入れ、表現の幅を広げる。</p>
令和2年度	3年	<p>○昨年度に引き続き、どの児童も、図工の時間に絵や工作で表現することを楽しみにしており、意欲的に取り組むことができるが、発想がなかなか湧かない児童もいる。</p> <p>○色を塗るときや、紙を折ったり切ったりするときに、指先や道具を慎重に丁寧に扱うことが苦手な児童もいる。</p>	<p>○手や体全体を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫することができる力。</p> <p>○創造的に発想や構想をしたり、身近にある作品から、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる力。</p> <p>○すすんで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力。</p>	<p>○題材に合わせて導入で十分時間をとり、様々なアイデアを出させる。身の回りの出来事や事象を取り上げ、発想が湧くような声掛けをする。</p> <p>○木切れ、板材、釘などの材料やのこぎりやかなづちなどの道具の基本的な扱いについて指導し、表現の幅を広げる。</p> <p>○鑑賞の時間を確保し、友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、今後の作品づくりにつなげていくことができるようにする。</p>
令和3年度	4年	<p>○昨年度に引き続き、どの児童も、図工の時間に絵や工作で表現することを楽しみにしており、意欲的に取り組むことができる。よりよい表現を追求できるよう指導が必要である。</p> <p>○色を塗るときや、紙を折ったり切ったりするときに、指先や道具を慎重に丁寧に扱うことが苦手な児童もいる。</p>	<p>○手や体全体を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫することができる力。</p> <p>○創造的に発想や構想をしたり、身近にある作品から、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる力。</p> <p>○すすんで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力。</p>	<p>○題材に合わせて導入で十分時間をとり、様々なアイデアを出させる。身の回りの出来事や事象を取り上げ、発想が湧くような声掛けをする。</p> <p>○板材、釘などの材料や電動いとのこぎりや彫刻刀など道具の基本的な扱いについて繰り返し指導し、表現の幅を広げる。</p> <p>○友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、豊かな鑑賞ができるように設定する。</p>
令和4年度	5年	<p>○昨年度に引き続き、どの児童も、図工の時間に絵や工作で表現することを楽しみにしており、意欲的に取り組むことができる。よりよい表現を追求できるよう指導が必要である。</p> <p>○色を塗るときや、紙を折ったり切ったりするときに、指先や道具を慎重に丁寧に扱うことが苦手な児童もいる。</p>	<p>○材料や用具を活用し、表し方を工夫することができる力</p> <p>○創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから、自分の見方や感じ方を深めたりすることができる力</p> <p>○主体的に表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力</p>	<p>○題材に合わせて導入で十分時間をとり、様々なアイデアを出させる。身の回りの出来事や事象を取り上げ、発想が湧くような声掛けをする。</p> <p>○板材、釘などの材料や、のこぎりや彫刻刀など道具の基本的な扱いについて繰り返し指導し、表現の幅を広げる。</p> <p>○適宜ICT機器を活用し友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、豊かな鑑賞ができるように設定する。</p>
令和5年度	6年	<p>○授業に意欲的に取り組める児童が多い。立体作品か平面作品かによって、得意不得意が分かれる児童がいる。</p> <p>○手先が不器用で、発想したことを形にすることが苦手な児童がいる。</p>	<p>○創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから、自分の見方や感じ方を深めたりすることができる力</p> <p>○材料や用具を活用し、表し方を工夫することができる力</p> <p>○主体的に表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力</p>	<p>○タブレットを使い、調べ学習やアイデアスケッチを行い、発想や表現を構想する時間を十分に取る。児童の発想が湧くような声掛けをする。</p> <p>○不器用な児童には、製作の仕方の手本を実演して見せたり、児童同士の教え合い学習を行う。</p> <p>○鑑賞では作品について良さを認め合う時間を設定する。</p>

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【家庭】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和4年度	5年	○生活を支える基本的な技能や態度において個人差が大きい。	○協同的に生活をよりよくしていく力 ○基礎的・基本的な生活の技能	○グルーピングに配慮し、班で協力し合って活動するような場の設定をする。 ○ICTの活用や手順の可視化などの手だてをして、基本的な技能の定着を図る。
令和5年度	6年	○日常生活に必要な衣食住などの基本的な知識や技能において個人差がある。	○家族の一員として、家族や地域の人々と協力して生活をより良くしようとする力	○身近な衣食住などに関する実践的な学習活動を多く設定する。

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【体育】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成30年度	1年	<p>○鬼遊びや水遊びでは、意欲的に取り組む児童が多かった。取り組む課題によっては、決まりや課題を理解しきれない児童がいる。</p> <p>○課題には意欲的に取り組むが、経験値が低く、基礎基本となる動きが十分に身に付いていない児童もいる。</p>	<p>○運動の決まりを守り仲良く運動する力</p> <p>○水にもぐって目を開け、いろいろな水中での遊びをする力</p>	<p>○ボールゲームなどでは、チームで仲良く協力する活動を取り入れ、ゲームの楽しさを味わわせるとともに、繰り返しゲームなどを行い、決まりやルールを守って、楽しく遊べるようにする。</p> <p>○つかむ、まわる、ぶら下がるなど遊具等を使った様々な動きを経験させて、体を動かす良さや楽しさを味わわせていく。</p> <p>○元気アップガイドブックを活用する。</p>
平成31年度	2年	<p>○どの活動にも意欲的に取り組む児童が多いが、動き方を知り、友達のよい動きを見付けることが十分でない。</p> <p>○自らの動きを振り返り、工夫したり、改善したりしようとする力が十分でない。</p> <p>○友達と協力して仲よく運動をしたり、決まったルールを守ることが難しかったりする児童がいる。</p>	<p>○友達のよさを見付ける力</p> <p>○自らの運動遊びを振り返り、簡単な遊び方を工夫する力</p> <p>○決まったルールを受け入れる態度</p>	<p>○動きを見合う時間を設け、お互いにより動きを見付け認め合う力を身に付けさせる。</p> <p>○映像などで自らの動きを見て、自分の体の使い方を工夫させる力を身に付けさせる。</p> <p>○活動時間に工夫を取り入れ、運動遊び自体の楽しさを味わわせることで、決まったルールを受け入れやすくする。</p>
令和2年度	3年	<p>○めあてを立て、めあてを達成するためにどのような練習をすればよいか、自らの動きを振り返り、改善しようとする力が十分ではない。</p> <p>○チームで行う競技の際に、お互いに認め合う力が十分でない。</p>	<p>○自らの動きを振り返り、改善する力</p> <p>○友達のよさを見付ける力</p>	<p>○友達や教員に自分の動きを見てもらい、アドバイスをもらい、自分の体の使い方を振り返り、改善する。</p> <p>○友達のよい動きを見付ける時間を設けて、お互いに認め合う力を身に付ける。</p>
令和3年度	4年	<p>○ゲームの型に応じた簡単な作戦を選ぶ力が十分に身に付いていない。</p> <p>○自己の技能をさらに高めるために工夫して練習する力が身に付いていない。</p>	<p>○ゲームの型に応じた簡単な作戦を選ぶ力</p> <p>○自分の技能を把握する力、自分の能力に応じた練習の場を選択する力</p>	<p>○授業中作戦タイムを設け、作戦を考える機会を作る。授業の振り返りを通して、規則の工夫や次時の作戦を考えることで、思考力、判断力、表現力の向上を図る。</p> <p>○技を児童同士で見合ったり、動画で確認したりしながら、課題を本人が自覚できるようにする。</p>
令和4年度	5年	<p>○自己の技能をさらに高めるために自己の課題を把握し、工夫して練習する力が身に付いていない。</p> <p>○自らが見付けた動きのポイントやコツを言葉にして他者に伝えることが不十分である。</p>	<p>○自己の技能を把握する力、自己の能力に応じた練習の場を選択する力</p> <p>○自分の考えを言葉で表現する力</p>	<p>○技のポイントや練習方法を提示し、課題の把握、課題に合った練習方法を選択できるようにする。</p> <p>○グループ学習を取り入れて、他者と関わる機会を多くする。</p> <p>○ICT機器を活用する。</p>
令和5年度	6年	<p>○自らが見付けた動きのポイントやコツを言葉にして他者に伝えることが不十分である。</p> <p>○体力・運動能力テストでは、多くの項目で東京都や全国の平均値を下回っている。</p>	<p>○自分の考えを言葉で表現する力</p> <p>○基礎体力</p>	<p>○グループ学習を取り入れて、他者と関わる機会を多くする。</p> <p>○ICT機器を活用する。</p> <p>○体の動きを高める運動領域の充実を図り、体力の向上を図る。</p> <p>○主運動につながる動きを充実させる。</p>